

大隅半島のかごしまブランド産品「かごしまのごぼう」は、若掘りで柔らかく、生で食べることもできる。若掘りゴボウは春サラダ、夏サラダ、秋サラダ、冬どりの新ゴボウといった作型があり、年中生産、出荷されている。  
大隅半島は、耕土が深く、肥沃で排水性が良い畑が多いため、ゴボウ栽培に適している。

# かごしま ブランドの ふるさと



かごしまのごぼう 鹿屋市など7市町



収穫を待つゴボウ畑のかごしまのごぼう

生産者数は横ばいで推移しているが、一部で規模拡大が進み、面積は増加傾向にある。産地では、生産安定と品質向上を図り、作型に応じて土

## 面積、生産量とも増加

2016～18年の集出荷貯蔵施設の再整備を契機に、収穫作業の機械化が進み、生産量が増え、全国の市場へ向け、安定的に出荷されている。産地の7市町(鹿屋市、曾於市、志布志市、大崎町、錦江町、南大隅町、肝付町)でつくる「大隅ごぼう団地管理組合」は、20年4月に安心安全で品質の良い「かごしまのごぼう」を計画的、安定的に生産、出荷するかごしまブランド団体として県の認定を受けた。4月下旬から春サラダゴボウの収穫が始まった。  
自宅で料理する機会が増えている。団地のゴボウをサラダなどの生食で味わってほしい。(大隅地域振興局農政普及課技術専門員・美座芳江)

【問1】大隅半島のかごしまブランド産品「かごしまのごぼう」はどんな特徴がありますか

【問2】産地では、生産安定と品質向上を図るため、どんな工夫をして取り組んでいますか。  
・作型に応じて( )  
( )を利用した  
土壌消毒、( )  
( )防止の被覆  
資材を利用した栽培  
・畑かん水を活用した適期の  
( )

「かごしまのごぼう」は生産者数は増えていないものの、栽培面積、生産量ともに増加しているそうです。生産者の方々は、さまざまな工夫や努力をして、みなさんの食卓に「ゴボウ」を届けているのですね。この他にも鹿児島にはいろいろな農産物があります。ぜひ味わってみたいですね

2020年5月31日付7面

むずかしい漢字とことば

若掘(わか・ぼり) 柔(やわらかく) 作型(さく・がた) = 地域(ち・いき)の作物の栽培(さい・ばい)パターン 肥沃 = 土地がこえているようす 排水(はい・すい) 推移(すい・い) = 移り変わる事。時がたつにつれて変わること 規模(き・ぼ) 拡大(かく・だい) 傾向(けい・こう) 土壌(ど・じょう) = 土。特に農作物を生育するための土 被覆(ひ・ふく) = 包むように、表面におおいかぶせること 貯蔵(ちよ・ぞう) 施設(し・せつ) 契機(けい・き) = ある物事に变化や発展(は・つてん)を起こさせるきっかけ。原因。動機 収穫(しゅう・かく) 認定(にん・てい) 下旬(げ・じゆん) 自宅(じ・たく) 生食(せい・しょく、なま・しょく) = なまのまま食べる事 振興(しん・こう) 普及(ふ・きゅう) 専門(せん・もん)



大隅半島のかごしまブランド産品「かごしまのごぼう」は、若掘りで柔らかく、生で食べることもできる。若掘りゴボウは春サラダ、夏サラダ、秋サラダ、冬どりの新ゴボウといった作型があり、年中生産、出荷されている。

# かごしま ブランドの ふるさと



収穫を待つゴボウ畑のかごしまのごぼう



かごしまのごぼう 鹿屋市など7市町

生産者数は横ばいで推移しているが、一部で規模拡大が進み、面積は増加傾向にある。産地では、生産安定と品質向上を図り、作型に応じて土

【問1】大隅半島のかごしまブランド産品「かごしまのごぼう」はどんな特徴がありますか

- ・若掘りで柔らかく、生で食べることもできる。
- ・春サラダ、夏サラダ、秋サラダ、冬どりの新ゴボウといった作型があり、年中生産、出荷される

【問2】産地では、生産安定と品質向上を図るため、どんな工夫をして取り組んでいますか。

- ・作型に応じて( **土づくり** ) ( **太陽光** )を利用した土壤消毒、( **寒害** ) ( **強風害** )防止の被覆資材を利用した栽培
- ・畑かん水を活用した適期の( **水管理** )

「かごしまのごぼう」は生産者数は増えていないものの、栽培面積、生産量ともに増加しているそうです。生産者の方々は、さまざまな工夫や努力をして、みなさんの食卓に「ゴボウ」を届けているのですね。この他にも鹿児島にはいろいろな農産物があります。ぜひ味わってみたいですね

## 面積、生産量とも増加

2016～18年の集出荷貯蔵施設の再整備を契機に、収穫作業の機械化が進み、生産量が増え、全国の市場へ向け安定的に出荷されている。産地の7市町(鹿屋市、曾於市、志布志市、大崎町、錦江町、南大隅町、肝付町)でつくる「大隅ごぼう団地管理組合」は、20年4月に安心安全で品質の良い「かごしまのごぼう」を計画的、安定的に生産、出荷するかごしまブランド団体として県の認定を受けた。4月下旬から春サラダゴボウの収穫が始まった。

自宅で料理する機会が増えている。団地のごボウをサラダなどの生食で味わってほしい。(大隅地域振興局農政普及課技術専門員・美座芳江)

2020年5月31日付7面

### むずかしい漢字とことば

若掘(わか・ぼり) 柔(やわらかく) 作型(さく・がた) = 地域(ち・いき)の作物の栽培(さい・ばい)パターン 肥沃(はい・すい) 排水(はい・すい) 推移(すい・い) = 移り変わる。時がたつにつれて変わること 規模(き・ぼ) 拡大(かく・だい) 傾向(けい・こう) 土壤(ど・じょう) = 土。特に農作物を生育するための土 被覆(ひ・ふく) = 包むように、表面におおいかぶせること 貯蔵(ちよ・ぞう) 施設(し・せつ) 契機(けい・いき) = ある物事に变化や発展(は・つてん)を起こさせるきっかけ。原因。動機 収穫(しゅう・かく) 認定(にん・てい) 下旬(げ・じゅん) 自宅(じ・たく) 生食(せい・しょく、なま・しょく) = なまのまま食べること 振興(しん・こう) 普及(ふ・きゅう) 専門(せん・もん)

